

福山市立広瀬学園中学校にて「サイエンス講座」を実施

9月24日（水）、福山市立広瀬学園中学校にて、全校生徒（1～3年生）43名を対象とした「サイエンス講座」が開催されました。本講座は、アース製薬と福山市が締結している包括連携協定の一環として企画され、企業の専門知識を教育現場に還元し、生徒たちの質の高い学びにつなげることを目的としています。

当日は、アース製薬の研究部より浅井一秀が講師として登壇しました。同校が進める「自己探究（マイプロ）」の授業と連携し、生徒の探究心を刺激するプログラムとして、害虫の生態に関する講義や、赤穂研究所の飼育室をバーチャルで見学するコンテンツなどが展開されました。特に、実際の「蚊」や「ゴキブリ」を用いて、蚊の誘引・忌避実験や、虫よけ剤の効力試験が実演されました。

クイズ形式なども取り入れた双方向の授業に、生徒たちは興味津々で参加し、身近な生き物の生態を通じて生物多様性の重要性や自然との共生について理解を深めました。当社は、2022年7月に福山市と包括連携協定を締結し、教育に関する取り組みを進めています。



福山市との連携で実現したサイエンス講座。
研究員が実験ボックスを用いた蚊の忌避実験を実演し、クイズを交えた講義で会場が盛り上がりしました。（福山市立 広瀬学園中学校 体育館にて）